

【めざす児童像】

- ・ 学び続ける子
- ・ 自分を好きになり仲間を信頼できる子
- ・ 役に立つ喜びを感じられる子

# 夢への一歩

平成27年12月18日

## 1 学習発表会への参加ありがとうございました



← 体育館一杯のお客様

11月28日辰美小学校体育館にて学習発表会を開催したところ、多くの保護者や地域の皆様に来校していただきました。ありがとうございました。参加人数は把握していませんが、通常のスリッパでは足りないほどの多くの参加をいただきました。

→ 記念写真「はいポーズ」

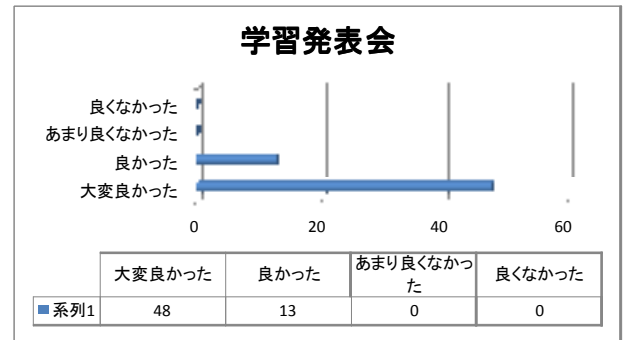


各学年、発達段階に応じた発表が出来たと思います。全県下において体育館で発表する「学習発表会」が減少し、教室での「学習発表」が増加していますが、地域の皆様の期待に応える意味でも、また、子どもたちの発表力を高める意味でも来年度も今の形式で開催したいと考えます。



↑ 全校合唱

## 2 学習発表会 (アンケートから)



61名の方からアンケートをいただきました。良い評価をいただきありがとうございます。

- 子どもたちに元気をもらいました。ありがとう。
- 1年生の「くじら雲」は地域愛にあふれて良かったです。5年生の太鼓のレベルの高さに大いに驚きました。どの学年の皆さんも熱心に取り組んですばらしかったですね。
- 一人一人が今日のためにがんばって練習した成果が出ていた。発表を見る態度も良かった。ただマイクの関係かせっきくの劇が良く聞こえない所もあり残念だった。
- 低学年から高学年と、子どもたちの成長の跡が見られてよかったです。小学生らしい元気の良さ、教える先生のセンスの良さと苦労が見えるようでした。大変レベルの高い学習発表会を見させていただいてありがとうございました。
- 1年生の元気の良さに感心した。2年生のミュージカルは熱演でした。3年生は言葉が良く聞き取れてストーリーがよく分かった。4年生の喜劇はおもしろかった。観客席も久しぶりに笑ったし児童に笑い声があって大変盛り上がった。5年生の太鼓は息が合っていて素晴らしかった。6年生の合唱と合奏はさすがに良かった。感動したかった。喜劇が受ける時代と認識しているのだから感動することも大切である。

- 子どもたちはすごくがんばっていたと思いますが、観客の大人の話し声や小さい子どもが走りまわるのが気になりました。
- 来年の発表会も楽しみです。

### 3 学習発表会（児童感想）

- 発表を終えて田中先生に「今までで一番良かった」と言われたのがすごくうれしかったです。太鼓は最後でとてもよい締めが出来ました。来年は最後の学習発表会です。がんばっておもしろい劇を作りたいです。
- 本番では全く緊張しませんでした。人が多かったから、意外に爆笑の声が聞こえました。ぼくは桃太郎をしました。桃から出てくるときに、変な顔をしたらほとんどの人が笑ってくれました。よかったです。
- 私は、三年峠という劇をしました。その中でトリトルという役をしました。一杯セリフがありました。みんなで歌を歌ったり、踊ったりしました。ちょっと緊張したけれど、がんばれました。お母さんが「よかったね。」と言ってくれました。私は、三年峠という劇はとても良い劇だと分かりました。私は四年生になっても、がんばって劇をしたいなと思いました。

### 4 「もったいない」 プラネット・リンク

- 世界では一日に1万7000人の人々が飢餓のために命を失っています。しかし、日本全国のお弁当や食料品の廃棄処分は1日250トンです。
- 地球の人口の約半数、28億人の人が一日2ドル以下のお金で暮らしています。彼らの生活には携帯電話も自転車もテレビも冷蔵庫もありません。一方日本では・・・。
- 食事を残すことは、とてもお行儀の悪いこと。ご飯は最後の一粒までありがたくいただく。これこそが、日本人の心に生きる「もったいない」の精神です。

### 5 お正月

- 正月とは本来、その年の豊穰〔ほうじょう〕を司る歳神様〔としがみさま〕をお迎えする行事であり、1月の別名です。現在は、1月1日から1月3日までを三が日、1月7日までを松の内、あるいは松七日と呼び、この期間を「正月」と言っています。

- 正月は家に歳神様をお迎えし、祝う行事です。歳神とは1年の初めにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気で暮らせる約束をしてくれる神様です。正月に門松〔かどまつ〕やしめ飾り、鏡餅を飾ったりするのは、すべて歳神様を心から歓迎するための準備です。
- そもそも、私たちの祖先は"全てのモノには命がありなんらかの意味がある"という「アニミズム」を信仰しており、作物の生命〔いなだま〕と人間の生命〔たま〕は1つのものであると考えていました。そのため、人間が死ぬとその魂はこの世とは別の世界に行き、ある一定の期間が過ぎると個人の区別が無くなり「祖霊」という大きな集団、いわゆる「ご先祖様」になると信じられていました。この祖霊が春になると「田の神」に、秋が終わると山へ帰って「山の神」に、そして正月には「歳神」になって子孫の繁栄を見守ってくれているのだと言います。

### おせち料理のいわれ

- 黒豆…一年中「まめ（まじめ）」に働き「まめ（健康的）」に暮らせるようにとの願いが込められています。
- 数の子…たくさん卵があるというところから、子孫繁栄の願いが込められています。
- 田作り…稲の豊作を願う気持ち、五穀豊穰の願いが込められています。
- 海老…腰が曲がるまで丈夫という長寿の願いが込められ、海老の赤色は魔よけの色とも言われています。
- 昆布巻き…「よろこぶ」の語呂合わせから祝いの儀には欠かせない食材です。



皆さんにとって、来年も良き年でありますように。